

中国
南西部山岳地帯におけるアグロフォレストリー事業
現地からのお便り
2018年8月
コンサベーション・インターナショナル

雲南省 Xishuangbanna（シーサンパンナ）自然保護区でのアグロフォレストリーシステム

専門家と村の住民が参加型アプローチを用いて作成した Changtianba 村のアグロフォレストリー開発計画をもとに、6月、植樹と畜産を開始しました。茶畑の多様化をすすめるため、27ヘクタールの茶畑に1720本のレモンの木を植えました。8月には更に果樹を植える予定です。デモとして、7家族に20匹の黒豚と9匹のヤマアラシが送られました。8月から9月にかけて技術研修を行う予定です。

Xiaozhaizigou（小寨子溝）自然保護区のプロジェクトサイトでの植樹および関連する研修

4月から Xiaozhaizigou 自然保護区でのアグロフォレストリーシステムづくりを開始しました。植樹にかかる100,000中国元（2018年8月現在約162万円）は Xiaozhaizigou 国立自然保護区が出資しました。6月にはスタディツアーとアグロフォレストリーの設計、エコフレンドリーな植樹技術、そして保護区の保全活動についての研修がプロジェクトの対象村で行われました。今後は保護区の支援により、アグロフォレストリーシステムで対象としている柿、イチゴ、シヤクヤク、ハーブ等を扱うための特別な技術、エコツーリズム、地域と保護区の連携についての研修が一年間にわたって継続的に行われます。

民間セクターがガンブ村のアグロフォレストリーデモサイトの受託業者になりました。

CIと現地政府のガンブ村への経済的支援が昨年12月に終了したことに伴い、デモサイトの開発と管理を続けるため、ガンブ村の組合が民間企業を誘致しました。今後の管理と開発にかかる経費はすべてその会社が負担し、さらに年間68,000中国元（2018年8月時点で約110万円）が村へ支払われます。村の組合へ支払われる資金の一部は、効果的な森林管理・保全を目的とした奨励金として村の森林委員会に送られます。また、デモサイトでの様々な製品の生産は、村の組合とCIと森林局がこれまでに定めたプロトコルに沿って行われます。

雲南省 Xishuangbanna（シーサンパンナ）プロジェクトチームのスタディツアー

熱帯雨林保全財団、Xishuangbanna 自然保護区の雲南省モウ海県準保護区、そして対象コミュニティが連携し、長慶にあるコミュニティと保護区のスタディツアーを行いました。村の水田の生産性を高めつつエコフレンドリーにするためのアイデアを得るために、養殖と水耕栽培を組

み合わせたアクアポニックスというシステムの導入に成功しているいくつかのサイトを訪問しました。

アグロフォレストリーシステム促進についてのレポートを省政府に提出

アグロフォレストリーシステムを生態系の復元と貧困軽減のモデルとして促進するための、四川省政府に向けたレポートを作成するため、農業と政策の専門家をガンブ村のプロジェクトサイトへ招きました。環境保全と貧困軽減は中国中央政府が先導している3つの重要戦略のうちの2つであり、政府は多額の資金を関連分野に拠出しています。このレポートによって、政府がアグロフォレストリーを山間地方の環境保全と貧困軽減戦略として推奨し、更に資金が充てられることを願っています。

今後の予定

Xichuangbanna 州と Xiaozhaizigou 自然保護区のプロジェクトサイトのアグロフォレストリーシステムを完成します。全てのアグロフォレストリープロジェクトサイトのモニタリングと技術的サポートを行っていきます。2018年10月にはダイキン中国とのコミュニケーション活動を行う予定です。